

GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2018

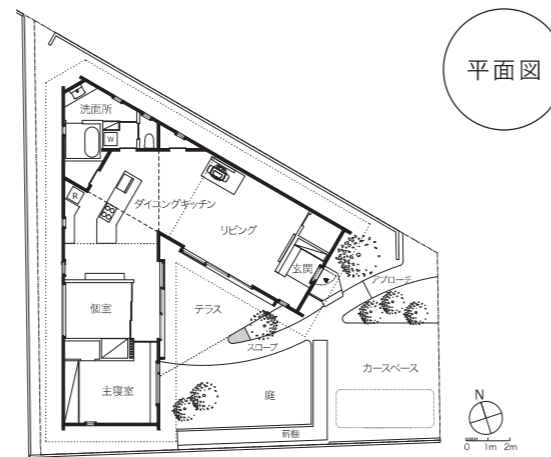
優秀賞

# ISEKA ログハウス

〈いせか ろくはうす〉

設計者 ミツバコウサクショー級建築士事務所

施工者 (元請) 有限会社 安松託建 / (ログビルダー) 八潮産商ログハウス事業部



## CONCEPT

### 設計主旨

郊外に建つ3人家族のための平屋建てのログハウス。環境や住まい方に配慮し日々の生活を魅力的なものにすると同時にいわゆる“ログハウス”に留まらない木の住宅の提案。

ログハウスは一風変わった建築形式です。そのログハウスらしい“意匠から一部の人の趣味性の高い家と括られ（設計施工も専門業者のみが行う）、構造的にも閉鎖的になりやすい特徴があります。そうした2つの意味で閉じているとも言えるでしょう。もったいない。これほど木のぬくもりや強さ、しなやかさを印象深く、直截に住宅に取り入れる建築形式は他にないでしょう。ログハウスを取り巻く固定的・閉鎖的なイメージや状況を払拭し、もっと軽やかで開放的な住空間としてひらきたいと考えました。いろいろな可能性をもった木の住宅としてその魅力を捉え直し、設計を行いました。住宅としての課題のみならずログハウスならではの課題にも丁寧に向き合い、新鮮な表現のログハウスとなりました。

敷地は伊勢崎市、80坪、北側が尖った台形をしています。冬は北西から、からっ風が吹きつけ、北側道路は幹線道路の抜け道で、時折トラックが走り抜けます。そこで、北と西の厳しい環境を建物で緩和し、その真ん中に内と外を繋ぐテラスを抱くように配置しました。テラスには屋根を架けています。外というのは気まぐれで、雨や強い日差しで快適に過ごせる日は実際それほど多くありません。しかし、屋根があれば気軽に外に出られアクティビティの幅も広がります。大きな軒下空間です。室内はテラスを中心に巡る一体的な空間で、リビングと

個人のエリアはテラスを挟んで対岸に位置し、適度な距離感で家族の気配が感じられるようになっています。

ぬくもりある木に囲まれて、寝室で星を見ながら眠り、朝日で目覚める。ゆったりしたキッチンで食事を楽しみ、テラスであそび、庭の草木を育てる。冬は暖炉を囲んでのんびりする。そうしたことが当たり前前に楽しめる豊かな家になってほしいと設計しました。



## REVIEW

### 講評

住宅街の角地、街並みに対して開くように佇むログハウス。御主人はいつのまにか庭の手入れが趣味になったと嬉しそうに語っていたように、前面道路に開いた外構の花木が、この家並に華を添えてとても好感が持てる。台形敷地の鋭角部に住宅を配置しそしてそこを中心としてプランを展開、図面をみる以上に内外の一体感と開放感がある。60度の角度で対峙する二面の開口部は、夏は日射を避け、冬は日射が入るよう配慮されている計画となっていることが現地審査で理解できた。ログハウスはメンテナンスが重要ではあるがこの家族は長く手をかけて愛し続けることができると感じた。それはログに対する施工主理解がしっかりあることと、なにより住まい方がすばらしく居心地の良さや気持ち良さを感じさせてくれたことに他ならない。

